

一般質問発言通告書

発言順位 7番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年6月7日

三島市議会議員 川原 章寛 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項 1	選ばれる街・稼げるまちづくりのために
具体的内容	
長引くコロナの影響が地域の中小の企業に及んでおり経済活動は以前より低迷し、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。これからの選ばれる街・稼げるまちづくりを目指すために、住む人の視点・外からの視点・企業立地推進ビジョン・公民連携による新たな価値創造などに取り組む必要があります。そのために三島市と三島市を取り囲む地域の経済活動を形作る経済の構造や要因を明らかにすることが肝要と考えます。以下伺います。	
1 三島市の経済状況を活性化する起爆剤として、三島と三島市を取りまく地域の集計化された経済活動を形作る経済の構造や要因を明らかにする、自立するまちづくりに必要な三島型マクロ経済モデルの構築について（マクロ的な視点から地域経済の見直しの必要性について）	
2 上記モデルから得られる結論と現実のデータとの関係を調べるための分析について（三島市の産業構造を把握する）	
3 これからの戦略的な企業誘致について（限られた土地を有効活用する土地利用政策と戦略的な産業政策からの雇用と新たな税収源を確保する事・財政基盤を確立するために外貨を稼げる基盤産業の誘致・育成について）	
4 外貨（給与）を市内に持ち込む給与所得者の移住・定住促進について	
5 市民経済計算を市内の総合的な経済指標として都市力の分析に活用することについて	
6 三島市のGDPを5%上げるには、という目標と実効性のある施策・市民の所得の向上に意識を向ける事について	
質問事項 2	老朽化が進む市営住宅の維持管理と藤代住宅の建て替えについて
具体的内容	
公共施設長寿命化計画の中で市営住宅の床面積は学校施設に次ぐ2番目の床面積を占めています。これらの施設管理と長期的な考え方の確認について。また、市営住宅は住む方が常時利用される施設であり日常の点検管理は重要であること。高齢者や障がい者、生活を守るセーフティネットの役割もあり今後も一定数の確保は必要であるとの認識について。令和4年度に予算措置された、市営藤代住宅N棟・S棟の建て替え事業の進捗・解体後の敷地利用について伺います。	
1 ファシリティマネジメントにおける市営住宅の位置付けと築後40年を超える棟数と戸数について	
2 市営住宅の集約化など将来的な方針について	
3 待機状況の現状（世帯数と年齢層）と施設の老朽との関係について	
4 特に老朽化している藤代住宅S棟・N棟の位置付けと今後の方針について	
(1) ファシリティマネジメントにおける藤代住宅S棟・N棟の位置付けと今後の方針について	
(2) 現時点における進捗と今後について	